|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 授業科目 | 臨床看護技術演習 | 単位数 | １単位 | 時間数 | 45時間（内30時間） | |
| 担 当 者 | 中山　美加  (臨床経験5年) | 学　年 | ２学年 | 開講年次 | ２学期 | |
| 目的 | 実践に即した技術演習を通して、専門職としての責任感と倫理観を身につける。 | | | | | |
| 科目目標 | 1. 複数患者の看護実践を通して優先順位・時間配分を判断することができる。 2. 状況に応じた対応および医療チームの連携の重要性が理解できる。 | | | | | |
| 回数 | 授業計画・内容 | | | | | 方法 |
| 1回  2回  3回  4回  5回  6回  7回  8～9回  10回  11～12回  13～14回  15回 | １．複数患者への看護実践とは  １）時間配分や優先度の考え方  ２）予期しない患者の反応への予測と対処方法の選択  ３）看護マネジメントにおけるチームメンバーとの連携・協働  ４）患者の持つ権利と倫理観に基づいた看護実践  ２．複数患者への看護援助の時間配分や優先順位の判断  ３．複数患者への看護援助の時間配分や優先順位の判断  ４．複数患者の把握  １）複数受け持ち患者（２事例）の全体像の把握  ５．複数患者の把握・看護実践の検討  １）複数受け持ち患者（３事例）の全体像の把握  ２）複数受け持ち患者（３事例）の看護実践の検討  ６．複数患者の状況判断の検討  １）複数受け持ち患者（３事例）の状況判断の検討  ７．複数患者の状況判断と看護実践の検討  １）複数受け持ち患者（３事例）の状況判断と看護実践の検討  ８～９．複数患者の状況判断と看護実践の検討  １）複数受け持ち患者（３事例）の状況判断と看護実践の検討  １０．複数患者の状況判断と看護実践の検討  １）複数受け持ち患者（３事例）の看護実践の検討  １１～１２．受け持ち患者（３事例）の各事例における看護の実践  １）受け持ち患者の状況判断と看護実践  １３～１４．複数患者への看護の実践  １）複数受け持ち患者（３事例）の状況判断と看護実践  １５．複数患者への看護実践の振り返り  　　　終了試験（45分） | | | | | 講義  個人・グループワーク  発表  個人ワーク  個人ワーク  個人ワーク  個人ワーク  グループワーク  発表  演習  公開演習  個人ワーク |
| 准看時  授業内容 |  | | | | | |
| 教科書  参考書 | 教科書：『系統看護学講座　看護学概論　基礎看護学①』医学書院  　　　 『系統看護学講座　基礎看護技術Ⅰ　基礎看護学②』医学書院  『系統看護学講座　基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学③』医学書院 | | | | | |
| 評価方法 | 学習成果物、筆記試験 | | | | | |
| 関連科目 | 診療に伴う技術、臨床微生物、医療安全、看護管理、看護倫理 | | | | | |
| 備考 | 脳梗塞、慢性心不全、輸液療法、基本的な日常生活援助が学習できる準備をしてきて下さい。 | | | | | |